

2021年度 国際経営学部 アクティブスチューデント応援奨学金 報告書

国際経営学部 国際経営学科 3年
邑井 亮太

はじめに

私はグローバルビジネスリーダーとなることを目的に、「ニセコ在住の外国人を対象とした、海外でのキャリアに関する調査と発信」を行った。当初北海道ニセコに直接訪問し取材を行う予定だったが、コロナ感染拡大のため、オンラインでの取材を行った。活動期間は2022年2月7日(金)～9月30日(金)の約8か月間に渡って行った。

企画内容について

今回の企画では多くの学生がキャリアを考えるきっかけを創ることを目的とし、ニセコで働く外国人の方々を中心に海外でのキャリアと挑戦時の心境についてオンライン取材を行った。ニセコ町国際交流員の方々やリゾートホテル、バー経営者など多業種の方々、約10名にご協力いただいた。取材を通じてより多くの学生に発信すべきだと考え YouTube に編集した映像を掲載した。総再生回数は約5,000回を記録し、学部生以外に加えて外部の学生にもキャリアについて考えきっかけを創ることができたと考える。

また政治家の方々にもインタビューを行った。意図としては、チャンネルの再生回数を上げることが多くの方に情報を届けることに繋がると考えたためだ。今回の企画とは世代やコンテンツのターゲットは異なるが、予算や知名度を考えたときに公的な立場で有名な方に取材させていただくことが最も効果的に視聴者数を増やせると考え、政党要件を満たす全政党にメールで取材打診をお願いした。

そして英語学習に関してはTOEIC過去最高スコアを記録した。リーディングのスコアが上がったことが要因である。TOEICではスピーキング能力は計測できないため、オンライン英会話に参加するなどスピーキング能力を上げることも意識した。さらに実践的な英語力を身に付けたいと考えたため、10月からはスペインの会社である Passnfly にて3か月の長期インターンに参加している。

今回のアクティブスチューデント奨学金をきっかけに多くの学生にキャリアを考えるきっかけを提供するだけでなく、自分自身のキャリアについて向き合う時間が増え、実際に行動できたことが今回の企画の大きな収穫だと考えた。

本報告書では次の3点【①結果と分析②取材過程③これからの活動について】に分けて、今回の活動について説明する。

①結果と分析

YouTube の総再生回数は4,947回を記録した。総再生回数の結果と分析は、ニセコイン

タビューと政治家インタビューの2つのパートに分けて説明する。ニセコインタビュー

ニセコインタビューの再生回数は565回だった。これは総再生回数の約11%にあたる。動画別に再生回数を見ていくと、チャンネル紹介の動画は184回、ニセコのバー・ニセコタップルームの共同経営者であるJohnさんの取材動画が73回、ニセコ国際交流員のMayさんは116回、同じく国際交流員のMitchelさん・Manoさん・Emanuelさんがそれぞれ32回・56回・11回となった。

次に視聴世代を見ていくと65歳以上が最も多く46.8%、55～64歳が27.1%、今回のターゲットである学生を含む18～24歳は10.4%という結果になった。学生のニセコインタビューの総再生回数は $565 \times 10.1\% = 57$ 回と推定できる。この数字は学部でイベントを実施して集客できる人数が多いことが予想されるものの、誰でも見ることのできるYouTubeとしては物足りない数字になった。

これに関しては改善すべき課題が3点見つかった。【1.動画が長い2.日本語字幕がない3.ターゲットに応じた取材動画を流す】ことだ。

1-1.動画が長い

動画は約50分の長尺が多かった。理由としては視聴者に取材相手の感情や表現をそのまま感じ取っていただくためだ。そのため話す間合いや話題はあまりカットしなかった。またカットすることで文脈が失われ表現が変わり、誤解を生みたくなかったこともカットが少なかった理由である。その結果動画は50分と長くなった。平均視聴時間は8分33秒なので、今後は10分以内に編集された動画を発信すべきだ。そのため現在は学部生3名と協力して編集を行い、10分以内にまとめた動画を更新していく予定である。

1-2.日本語字幕がない

次の課題は日本語字幕がなかったことだ。実際コメント欄には英語が分からないとの声があり、日本語での取材と比較すると視聴時間が短かった。日本語字幕がないことは視聴者のターゲットを英語上級者かつキャリアに興味がある人に限定する。字幕をつけた場合、英語学習に少し興味がある人または海外でのキャリアに興味がある人と視聴者の入り口を広げることができ、それによって視聴回数を多くできると考えた。

1-3.ターゲットに応じた取材動画を流す

最後の課題はターゲットに応じた取材動画を流せていなかったことである。それは政治家インタビューのことだ。この動画は政党要件を満たした政党の方々に各党の経済政策について伺いする企画である。元々ニセコのキャリア動画のみ発信する予定だったが、有名人に取材した相乗効果でニセコのインタビュー動画の再生回数を上げたい思いからその企画を実施した。しかし、政治家インタビューの主な視聴者である55歳以上の視聴者がニセコインタビュー動画も視聴することは少なかった。

今回のメインコンテンツはニセコで働く外国人の取材動画だったので、海外で活躍する方やキャリア関連の有名人に取材した動画をアップロードすることで、自然な流れでチャンネルにある他の動画を見ていただける機会が広がると考えた。

政治家インタビュー

政治家インタビューの良かった点としては関心の高いファンがいることだ。YouTube で活動していく上で、視聴回数の次にチャンネル登録者数が大事である。政治家インタビューではコメントを書いたりチャンネル登録していただいたりする視聴者が多かった。

現在登録者数は約 50 名であるが、そのほとんどが政治家インタビューをきっかけとした登録者数だった。

英語学習

英語学習に関しては TOEIC 過去最高スコアを記録した。リーディングのスコアが上がったためだ。ことが要因である。リーディングやリスニングだけでなく、スピーキングの能力を上げるために 10 月からはスペインの会社である Passnfly にて 3 か月の長期インターンに参加している。

②取材過程

ニセコインタビュー

ニセコにある英会話塾やリゾートホテル、ニセコ町役場など約 30 社にメールで取材のお願いを送信した。ニセコは外資系企業が多く、メールのテンプレートと企画書は英語と日本語版双方を作成した。その中でも特に自己紹介・取材経緯の説明や日程調整に苦戦した。取材交渉序盤は企画書に掲載している取材経緯や詳細に関する内容が分かりづらく、メールでの企画調整に時間がかかった。そのため、企画書内で【私がなぜこの企画を行うか、取材者は何名か、学部公式的活動であるか】など自分自身立場を明確にするように意識して、書類を何度も修正した。その結果メールでのやり取りの効率化を実現して、徐々に企画を受けていただける企業が増えた。当時のニセコは繁盛期前の準備で忙しいお店や施設が多く、メールのやり取りを減らすことが取材相手の負担を減らすことに繋がった。

そして取材で使った質問については留学生の友人にアドバイスをもらいながら改善した。友人と Zoom をしながら質問の聞き方が失礼ではないか・分かりやすいかを確認し、留学生が興味のある話題も付け加えた。また取材回数を重ねていく中で自分自身が感じたことや取材相手の共通点を発見して、実際に取材の質問に盛り込むことでキャリアについてかなり深く答えを引き出すことができた。

例えば、日本の就職活動はどこですれば良いか分からない、難しすぎるといった意見が共通点として見つかった。特にマイナビなどの就活アプリが難しく、膨大な情報があるからこそ、どのように情報を絞れば良いか分からない声が多かった。友人の留学生も就活に関連したインターンが始まる時期やどのアプリが良いか迷っている相談を受けたことがあるため、海外での就活を考える際には現地の就活生が使うアプリやタイムラインについて把握しておくのと大きな不安が解消できることが分かった。

政治家インタビュー

ニセコインタビューはすべて英語で行われ、聞きたいことをすぐに言葉にできないもど

かしさを感じた。そのため日本語での取材を実行した。対象は政党要件を満たす全ての政党に定めた。今回学部限定公開を含め動画としてアップロードされているものが取材を引き受けてくださった政党である。ニセコインタビューの経験もあり取材願いのメールに慣れたため、取材の打診を円滑に行えた。

取材を通じて驚いたこととして、こうした取材企画を通じて政治家の方とお話をする機会をいただく学生は珍しくないことだ。学生の間でしかできないことなので取材に挑戦する人が多く、実際に私も学生時代に当時の政治家の方にお話聞きに行ったことがあるとおっしゃっていた政治家の方もいた。国際経営学部でも、分野に関係なく取材を行う人やコミュニティーが増えて、学部生の活躍の場が広がると良いと感じた。

英語学習

基本的に TOEIC の過去問やオンライン英会話に参加することで英語能力を伸ばした。TOEIC は時間が短く、リーディングは最後まで解けないことや最後の数問がじっくり考えられないまま回答することが多かった。そのためテストでは時間に余裕をもって回答できるように、TOEIC 専用の単語を覚えることや過去問を使い時間内に問題を最後まで解き終えることができるように勉強した。その結果最後まで余裕をもってリーディング部分を終わらせることができ、過去最高スコアに繋がった。

③これからの活動について

ニセコインタビュー

50 分の取材動画を 10 分にまとめて、多くの学生に YouTube の良さである何回も見られることを活かしてキャリアを考えるきっかけを提供していく。学部生 3 名と編集チームをつくり、今ある動画をそれぞれ 10 分にまとめる。またリール動画も加えて、上手く動画を宣伝して視聴者回数を増やしていく。

政治家インタビュー

今後政治家インタビューの企画を行う予定はない。まずはニセコインタビューを分かりやすく伝えることに集中する。

英語学習

今後は特にスピーキング能力を挙げていきたいので、普段の授業に加えてインターンなど英語を話す機会を自分で作りあげられたらと考えている。

おわりに

発信する媒体に変更があったことによる戸惑いやコンテンツに改善の余地があるものの、取材をスムーズに企画・実行できた点は良かったと考えている。この活動を通じて学生にキャリアを考えるきっかけを提供するだけでなく、自分の強み・弱みを発見でき、今後の自分自身のキャリアを考えるうえで大きな収穫になった。

今後は就職活動を中心に自分自身のキャリアに向き合う時間が多くなるため、取材経験

や英語力、精神面などこの企画で得た実践的な知識を活かして活動していきたいと考えている。YouTube でのキャリアを考えるきっかけを提供する活動に関しても、地道に続けていきたい。

今回企画にご協力いただいた大学の方々やニセコで働く外国人の方々、各政党の議員の方々に感謝申し上げます。この企画で企画準備の大変さや企画中の英語力でのコミュニケーション能力に至らなさを痛感して試行錯誤を続けたことが今後のモチベーションに繋がりました。今後も自己成長を続けて、海外で働く夢を実現していきたいと思います。企画に携わっていただいた方々誠にありがとうございます。

※なお、当プロジェクトの成果物である YouTube チャンネルは以下の URL からご覧いただけます。

<https://youtu.be/YHUCjcGiwE8>